

## 全般

5年度は、当初予算としては過去最大の1117億円だが骨格予算なので、第2回定例会で、新規・充実分については補正予算が出される予定である。それ以外の事業も物価高騰の影響で予算の増額が必要となる可能性が高い。

一方で、新たな財政収支推計では、特別区税などの一般財源は増加傾向となっているが、人口や景気の動向、税制改正の内容によっては、減収の可能性がある。更には、国や都の支出金が削られることも、十分考えられる。

コロナ感染拡大の影響による課題やポストコロナへの対応、物価高騰への対応などなど、多額の費用が必要で大変厳しい財政運営を強いられるのではないか。令和4年度末の基金残高は、一般会計で約576億円が確保され評価している。しかし、先行きが不透明な状況の中では、BPRやRPAの導入を拡充するなど業務効率の向上を図るとともに、DXをしっかりと推進し区民サービスの向上を図っていくなど、行政経営の更なる推進を図ることが必要。また、社会経済状況が急激に変化しても、必要な事業を迅速に実施することができるよう、財政基盤の強化も必要ではないか。今後も、行財政基盤の強化をしっかりと進めていってほしい、と要望

## 総務費

### ○住民基本台帳事務について

0歳から9歳の子どもや、子育て世代である30代半ばから40代の方の人口動態。コロナの影響が少なかった令和2年4月以来の推移は？と質問。子供（0歳～9歳）では870人、子育て世代（35歳から40歳代）では1452人、それぞれ減少している、との答弁。コロナ以前は増加傾向にあった子育て世帯の転出超過が続いている状況を確認。子育て世帯の定住促進に向けて、子育て世帯の定住促進に向けて、子育て環境の全般的な底上げが必要、と要望。

## 産業経済費

### ○商店街振興対策について

商店街振興には様々なメニューを取り揃えているが、商店街全体に係る支援が多く、個店への支援が少ない。一つの強い店舗が誕生することにより、商店街全体へ影響を及ぼすこともあるはず。個別の事業所への経営支援などを実施している産業振興事業団と協力して、商店街振興の中でも、個別店舗の支援に力を入れていくべき、と要望。



## 土木費

### ○北部地域におけるリノベーション型まちづくりについて

北部地域は、隅田川に近く、スポーツ施設、大型スーパー、病院、ショートステイを実施している特養ホームもある。そして安心して預けられる保育園が充実しており、リフレッシュに対応した「いittokid保育」施設もある。子育て世帯や、三世代世帯が住むには、利便性の高い施設が集積している。子育て世帯も、ぜひ住みたいと思うような、良好な住宅地区を目指して、街づくりを進めていただきたい。そのためにも、来街者を呼び込むことを意識した広域型ではなく、住んでいる人たちのための近隣型の「リノベーション型まちづくり」とすべき、と要望。



## 教育費

### ○保育園の空き状況への対応について

令和5年4月入園2次調整の段階で0歳児クラスは92名が入園可能となっており、4月時点での定員割れをする保育園が出てくる。0歳児クラスは3人に1人保育士を配置するので、他の年代に比べて定員割れの影響は大きいはず。また、保育委託料も他の年代よりも高額で、より経営に与える影響は大きい。何らかの支援を行わなければ、閉園せざるを得ない園も出てくるのではないか。

0歳児クラスは、出産や産休・育休明けなど、年度途中でのニーズが他の年代よりも高い。4年度も4月には94名の空きがあったが、年度末には埋まっている。今後も年度途中からでも入園できる体制を維持していくなくてはならない。そのためにも、0歳児の定員割れに対しては、財政的にも支援が必要。早急に対策を講じてほしいと強く要望。

## 太郎の ちょっと ひとと ひと言

Vol.3

この区議会レポートも、定例会ごとに発行していたのですが、コロナの影響もあって合併号にした号が2回あるので、今号で46号となっています。区政の内容や、発言趣旨など、できる限り正確に発信できるよう原稿を書いていると、どうしても字数が多くなってしまい、かえって読みにくくしているのかも、と常に反省しているのですが・・・。

今後も、「行政のチェックや政策の提案」という議会本来の役割をしっかりと果たしていく。そして、台東区政や議会の情報を、しっかりと発信していくべく、「頑張っていきたい」と、思っています。



### ○昭和41年6月生まれ（現在56歳）

○浅草寺幼稚園、待乳山小（現東浅草小）、蔵前中（現浅草中）、早稲田実業高、早稲田大学第一文学部卒  
○平成元年（株）西武百貨店入社秘書部配属  
○28歳で水野誠一参議院議員第一秘書。与党政調会長秘書として国政全般を学ぶ。衆議院議員政策秘書、都議会議員政策担当を務め、国政・都政の政策立案に携わる。  
○浅草町一町会青年部長、浅草神社西部若狭連合会副会長。

### ○平成23年より台東区議会議員。（現在3期）

△区議会 副議長  
企画総務委員会委員  
環境・安全安心特別委員会委員  
文化・観光特別委員会委員  
「つなぐプロジェクト」  
△会派

台東区議会議員 早川太郎

【ご意見・問い合わせ先】

台東区議会議員 早川太郎 事務所

台東区日本堤1-23-4 TEL. 03-3871-8497 FAX. 03-6701-7491

info@hayakawa-taro.com ※区政に関するご意見・お問い合わせ等、ぜひお聞かせ下さい。

台東区議会議員

# 早川太郎



台東区議会レポート

発行 つなぐプロジェクト 早川太郎 東京都台東区東上野4-5-6 台東区役所7階

令和4年 第四回定例会 報告 Vol.46

<http://hayakawa-taro.com/> 随時ブログ更新中！

2月16日から28日間にわたって開会された第一回定例会では、令和5年度一般会計予算を含む区長提出24議案と議員提出1議案を可決し、3月15日に閉会しました。

私 早川太郎は予算特別委員会の委員として、5日間にわたって行われた費目別審議において、「行財政基盤の強化」や「北地区のまちづくり」「保育園の空き状況」など提案・質問を行いました。

すべての世代の未来のために、台東区の未来のために。今後とも区民の皆様の声をいただきながら、台東区政改革に全力で取り組んでいく決意です。ご理解とご協力をお願いいたします。

## 令和4年度一般会計補正予算（第10回）成立

今定例会では、約68億1千万円の一般会計補正予算（第10回）の他、2つの特別会計補正予算が成立しました。

第10回補正予算には、歳入で、特別区民税約13億1千万円や特別区交付金11億円の増収分などが計上され、歳出では、幼稚園や保育所などへの緊急安全対策の経費や、事業の中止や延期等になったことによる経費の減額分が計上されました。結果として約10億6千万円の基金の取り崩しを取りやめ、基金約96億4千万円を積み増しています。新型コロナ感染症や物価高騰の影響など先が読みにくい状況の中、区政運営をしっかりと行っていくために、将来の財政需要や景気の変動などに備え基金を積み立てていくことは重要であり、この補正予算は必要な措置だと考え、賛成しました。

## 令和5年度一般会計予算（1117億円）成立

今定例会では、令和5年度の予算案（一般会計と5つの特別会計）総額約1585億円が予算特別委員会で審議されました。区長の任期や選挙等の日程により、総括質疑を行わず5日間の費目別質疑のみが行われ、3月15日の本会議にて成立しました。

令和5年度一般会計予算は、歳入では、特別区民税で約12億5千万円、特別区交付金で10億円の増額。歳出では、緊急経済対策で約11億8千万円の増、感染症対策で約3億7千万円の増、子ども医療費助成の高校生等への対象拡大で約1億円の増などで、予算総額1117億円、対前年比58億円の増。当初予算としては過去最大の規模となりました。基金の活用額は約74億円で前年に比べて約18億円の増、起債の発行額は19億円で約7億円の増です。

今後の物価の動向や新型コロナウイルス感染症の5類への移行など、先行きが読みにくい中での予算編成であり、4月に台東区長・区議会議員選挙を控えているため、原則として政策的な新規・充実事業の経費は計上を見合わせた骨格予算としたものの、コロナや物価高騰にも切れ目がないよう対応していること、また、公共施設保全計画や省電力型照明整備など、予定されている事業は、しっかりと事業化していることなどを評価し、令和5年度予算案に賛成しました。あわせて、今後も物価高騰が続くようなら、追加の支援策はぜひ検討するよう要望しました。

## 太郎のちょっとひとと ひと言 Vol.1

「私を育てていただいた素晴らしい地域を、子どもたちにも、より良い環境で継承していきたい。すべての世代の人たちが住み続けたいと思える『まちづくり』の一助になりたい」という強い思いから区議に立候補しました。以来12年間、初心を忘れず真摯に議員活動に取り組んでまいりました。

なかでも行財政改革は常に取り組んできたテーマの一つです。景気や人口の動向、国の不合理な税制改正などによる減収の懸念、国や都の補助金削減も考えられるなど、先行き不透明な状況で、これからも大変厳しい財政運営が続くと思っています。

しかし、新型コロナの影響による社会の変化や物価高騰への対応、福祉や子育て、災害対策など必要な事業をしっかりと進めていかなくてはなりません。そのためには、ムダのない行政運営が不可欠。今後も、新たな行政需要に対応できるよう、DXの推進など行政経営の改善に向けた取り組みを提案してまいります。

これからも「すべての世代の未来のために、台東区の未来のために」全力を尽くしてまいります。